



令和4年度 東江保育園 自己評価 まとめ

一年の振り返り

- 地域の方との関りはあまり持てなかったが子ども達の体調をみながら園バスを利用し園外へ行く事ができ、良かった。外に出ることでバスでのマナー外遊びの約束など改めて確認できた。
- 乳児クラスは保護者とより密な関りとなるので、良いコミュニケーションをとっていく大変さや難しさを感じた。
- 設定保育にしばられることなく、職員間でアイデアを出し合って色々な環境づくりの中で子ども達が自由に遊び込めた一年だった。
- 歌やリズム、遊びやかかわり方なども保育をしていく中で学べた。
- 有観客で運動会やおゆうぎ会ができてよかった。
- 行事等で子ども達の成長を共有できてよかった。
- 様々な報道の中で子どもに対する言葉かけやかかわり方の難しさを感じた。
- 年長クラスの担任という経験を通して、子ども達の成長や家庭環境に合わせた関りなど難しさを感じることもあったが実際に経験することで、自分自身の学びとなった。
- アレルギー除去食について、誤食が無いように、調理室⇄保育士で連携が取れていてよかった。
- コロナウイルス感染症の対応や行事の行い方、保育士不足による対応など不安や戸惑いも多かった周囲に助けられ職員の成長やスキルが見て取れた。

園の評価・課題

- 連絡のミスや漏れが多かった。
- 園庭での職員配置など安全面に対する職員間の共通理解をより深めていきたい。
- コロナ禍でも、内容の見直しや工夫をして行事を行う事ができてよかった。次年度もよかったところは継続して活かしていく。
- 遊具の安全チェック、園全体の掃除など職員全員で行った方が良い

- 保育士不足の改善。個人でできることは、ともに働く仲間を大切により良い職場づくりを考えること。
- 壊れた物や足りないものなど、すぐに修理、購入してもらいありがたかった。
- 子ども達が好きな遊びを選んで自由に遊べるのは、良い所だと思う。家庭的な雰囲気職員同士、協力体制ができている。
- 異年齢児との交流が少なかったように思う。
- 保護者とのコミュニケーション、信頼関係を大事にしたいが、まずは保育士同士の信頼関係の重要性を感じた。
- 行事の準備や進行など職員間で連携を取りながら、取り組むことができたので良かった。
- 不審者対策訓練の実施、防犯カメラの設置。
- 調理担当職員と子ども達の交流会があると良いと感じた。